

# 2014年度予算要望（120項目）を提出 日本共産党市議団と河村市長が懇談（9月26日）

9月26日、日本共産党名古屋市議団は、2014年度の予算編成に当たって市長への要望を行いました。

## 悪政からの防波堤に

団長から、「アベノミクスがもてはやされていますが、市民の暮らし・営業は深刻です。市政運営にあたって、いま何より求められているのは、安倍政権の暴走から市民の暮らしを守る防波堤になることです。特に市民の関心が高い、敬老パスの一部負担金は値上げせず現行制度を守ってほしい。こんなときだからこそ保育料の値上げはしないでください。安倍政権の暴走くいとめるために消費税増税、原発再稼働ストップを国に求めてください。平和首長会議に加盟されたことは評価します」などと訴えました。

## しっかり検討し予算に反映を

山口清明議員から120項目の中での重点的な要望事項について説明をおこないました。「市民の所得を増やし地域経済の活性化させることが、暮らしを守り、市の財政も好転させます。原発事故は収束するどころか放射能汚染水のコントロールすらできていません。地震や津波、集中豪雨など災害への備えも待たなしです。憲法改悪を許さず、市政の隅々まで日本国憲法を活かす努力も欠かせません。そのために、①新たな税金の浪費につながる大型事業を断念し、②福祉・保育・教育・医療・介護の充実させ、③若者の雇用と中小企業の支援に市政の軸足を移し、④原発依存から抜け出し、福祉と防災、環境のまちづくりをすすめる、との視点からまとめた重点要望です。しっかり検討してください」と訴えました。

## 持論振りまく市長

市長はあいかわらず、SLや天守閣の建て替えについて反対している共産主義はいかんとか、意味のないフレーズの連発でした。「消費税増税や原発推進は反対ですね、ぜひ国に意見を言ってください」と、水を向けると、「そうだけど総理ではないからいかんわ、何言っても聞いてもらえんで・・・」と逃げる。平和首長会議の加盟については、「憲法はちょっと考え方がちがうけど・・・」と相変わらず。



河村市長に要望書を手渡す市議団

## 市民の声を聞きなさい

要望に対しては言葉を濁し、自論を振りまく市長でした。「我々が要望をいう場であって、市長さんの要望を聞く場じゃないですよ」と田口議員に指摘されていました。

### 予算要求の主な項目

1. 安倍政権の暴走から市民を守れ
2. 公的福祉を解体せず、医療・介護・保育・教育の充実を
3. 雇用拡大と中小企業の活性化で、内需拡大型成長を目指せ
4. 脱原発宣言を行い、防災と環境を重視した街づくりを
5. 大型開発と大企業優先の市政から、市民が主人公に転換を

（予算要望書はホームページをご覧ください）

しゃべりまくる市長（右奥）。となりは岩城副市長

